

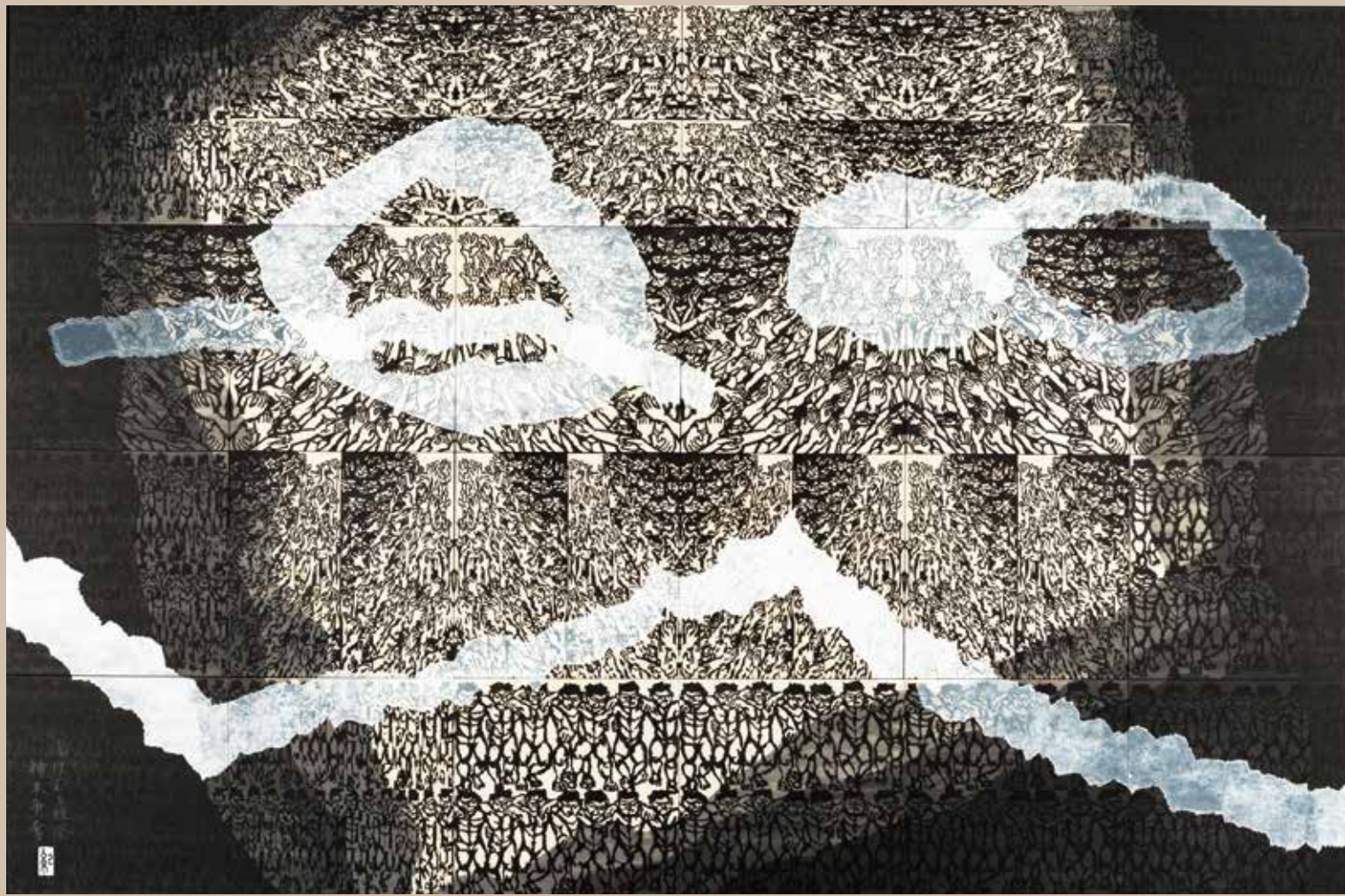
NAGAO Norihisa Exhibiton

Focusing on Festivals, Nature and Circumstances :

A Dye Artist Born in Okayama who Worked in Kyoto and Okinawa

染色家 長尾紀壽展

— 祭り・自然・暮らし 岡山、京都から沖縄へ —



長尾紀壽《湯けむる裸祭-宝木争奪》1994 京都国立近代美術館

2025年9月20日(土)～11月3日(月/祝)

2025 9.20 SAT-11.3 MON/National Holiday

主催：岡山県立美術館

助成：(公財) 福武教育文化振興財団

会場：岡山県立美術館 2階展示室

休館日：毎週月曜日(ただし祝日は開館、翌平日休館)、9月22日(月)は特別開館

開館時間：9:00-17:00 9月27日(土)、10月11日(土)、10月25日(土)は19:00閉館(入館は閉館30分前まで)

観覧料：一般360(290)円 *大学生260(210)円 小中高生無料 *65歳以上の方170円(140円) ()内は20名以上の団体料金

*年齢や所属を確認できる証明書や学生証等をご提示ください。／キャンパスメンバーズの学生は無料

身体障害者手帳等持参者とその介護者1名は無料／同時開催中の特別展「平子雄一展」観覧券でも入場できます。



《ウージ畑》 飾衣裳 2001 京都国立近代美術館蔵

染色家 長尾紀壽^{のりひさ} (1940～)は岡山市に生まれ、岡山朝日高等学校を卒業後、京都市立美術大学(現:京都市立芸術大学)工芸学科に入学、型絵染作家、稲垣稔次郎^{としじろう} (1902～1963)の指導を受けます。工芸学科卒業のちに専攻科染織専攻修了後、美鈴工芸株式会社(服地加工会社)設立に参画して、稲垣所属の新匠会で活動します。型染技法を用いながら西大寺会陽など祭りの風景を作品にして注目されました。

1995年に沖縄へ転居し、同年から2006年まで沖縄県立芸術大学美術工芸学部で教授を務めます。作品の題材は、沖縄の豊年祭、闘牛、のちに同地の草花や風景へと移りました。06年に退職してからは、農作業の傍ら、日常の生活や、沖縄を取り巻く現状を題材に取り上げ、メッセージ性の高い作品を創作しています。

出身地岡山では、長尾の作品を見る機会はわずかでした。この展覧会では初期作から近作までをまとめて紹介します。

関連事業(要観覧券)

①記念対談「京都、沖縄の染織と長尾紀壽」(仮)

10月12日(日) 14:00～15:30

講師:長尾紀壽氏(出品作家)、
松原龍一氏(新居浜市美術館館長)

会場:地下講義室と2階展示室(定員70名、当日先着順)

②講座と解説「染色家としての経歴と展示作品について」(仮)

9月21日(日) 14:00～15:30

講師:長尾紀壽氏(出品作家)

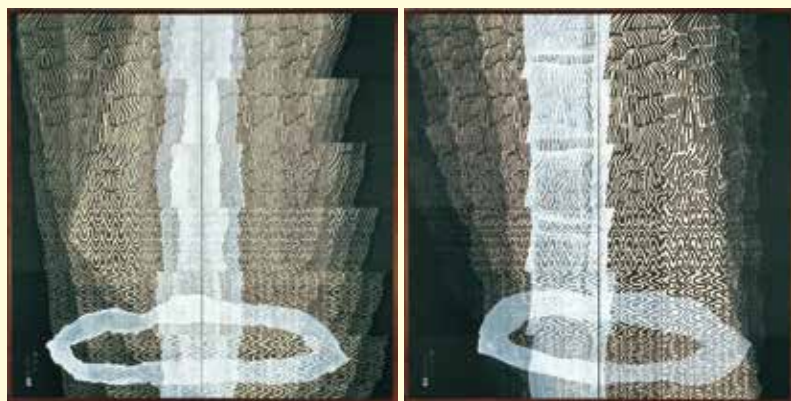
会場:ホールと2階展示室(定員170名、当日先着順)

③美術館講座「長尾紀壽の歩み」

10月25日(土) 14:00～15:30

講師:廣瀬就久(当館主任学芸員)

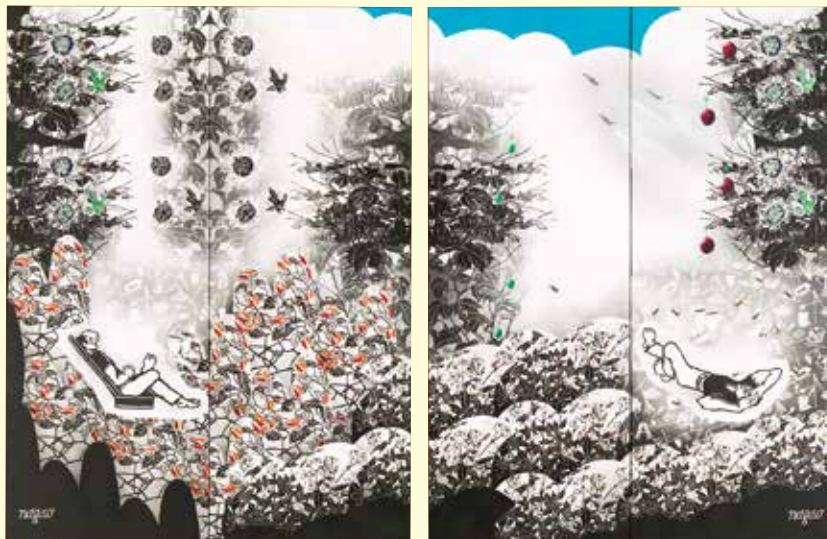
会場:地下講義室と2階展示室(定員70名、当日先着順)



《静寂・朝夕・音無の瀧》 二曲一双 1995 染・清流館蔵



《我家のソテツとブーゲンビリア》 二曲一双半 2004 染・清流館蔵



《現在の想い(アメリカせんだんぐさと蜜蜂)》 二曲一双 2011 作家蔵

すべて長尾紀壽作

岡山県立美術館
OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

〒700-0814 岡山市北区天神町8-48
Tel. 086-225-4800 Fax. 086-224-0648
<https://okayama-kenbi.info/>

JR岡山駅後楽園口(東口)から

— 徒歩:約15分

— 路面電車:東山行「城下」下車 徒歩3分

— 岡電バス:後楽園、藤原団地行き「天神町」下車すぐ

— 宇野バス:四御神/瀬戸駅/片上方面行き

「表町入口」下車 徒歩3分

※ご来館の際は、できる限り公共交通機関をご利用ください。

